

垂水町まちづくり計画



(丸亀浄水場付近から小学校を望む)

平成 20 年 4 月 1 日策定

垂 水 や す ら ぎ の 会

はじめに

「やすらぎと生きがいのある町たるみをつくる会（略称 垂水やすらぎの会）」につきましては、平成 5 年 6 月に発足し、会員各位の温かいご理解とご協力のもと各種地域づくり活動を展開してまいりました。

その間、地域福祉、環境、健康づくり、健全育成、防犯防災、スポーツ・レクリエーションなどの活動を通じ、町民相互のふれあいが深まるなかで、「自分たちのまちは自分たちで守り育てよう」という町民各位の地域づくりへの参画気運が高まってきました。

私を含め垂水やすらぎの会役員一同に、町民皆さんの日頃の諸活動に対し心から感謝申し上げますとともに、今後の垂水の地域づくりについて責任を痛感し、あらためてご指導とご支援をお願いする次第であります。

このような状況のなか、丸亀市では平成 19 年度に新しい総合計画がスタートし、市民と市の協創を新しいまちづくりの基本理念に、めざす将来像「自然と歴史が調和し 人が輝く田園文化都市」に向け各種事業が進展しており、特に地域づくりにつきましては、何より住民主導の取り組みが重要として、市内 17 のコミュニティ組織に対し、地区別まちづくり計画の策定と推進が求められているところであります。

そこで垂水やすらぎの会では、この市の提案を時宜を得たものと受け止め、積極的に取り組むことを平成 19 年度総会で決定し、昨年 9 月に策定委員会を設置し、ワークショップ形式で垂水町のあゆみを振り返り、また現況を把握しながら、今後の垂水町のまちづくり方針とソフト・ハード両面の整備（行動）計画として、計画案を取りまとめ、本年 2 月の合同部会での審議調整を経て、このたび「垂水町まちづくり計画」を策定いたしました。

今後は本計画を市に提出し、市の支援をいただきながら順次事業化に取り組む方針でありますので、町民各位におかれましては、本計画をご精査いただき、垂水町の新しい地域づくり指針として、その具現化に特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 20 年 4 月

垂水やすらぎの会 会長 本 多 幸 雄

第 1 章 垂水町の現状分析

1 人口及び世帯数

垂水町は、昭和 33 年 5 月の合併により垂水村から丸亀市垂水町になりました。

以後 50 年（半世紀）にわたり、本市最南部の農業を中心とした田園地域、さらには良好な住宅地として発展してまいりました。

人口は、昭和 40 年代までは、高度経済成長期を反映した都市部への流出などにより減少傾向にありましたが、昭和 50 年以降は、本市及び周辺都市での企業の立地による住宅需要の高まりや、さらにはモータリゼーションの進展などによる利便性の向上などにより郡家町、三条町、川西町などと同様に良好な住宅地として注目を集め始め、人口は増加に転じ、さらに平成に入ってから市南部地区においても他地区を上回るペースで人口が増加している状況であります。

現在垂水町の人口は、平成 17 年の国勢調査で、5,519 人、世帯数は 1,750 世帯となっており、5 年前と比較し、人口で 15.6%、世帯数で 20.8%、また 10 年前との比較では、人口で 30.0%、世帯数で 43.2%と高い伸びを記録しております。

垂水町の人口及び世帯数の推移

国調年	S 3 5	S 4 0	S 4 5	S 5 0	S 5 5	S 6 0
人口（人）	2,475	2,238	2,092	2,196	2,494	2,885
世帯数（世帯）	514	-	506	550	640	746

H 2	H 7	H 1 2	H 1 7
3,508	4,245	4,775	5,519
953	1,222	1,449	1,750

また、年齢別人口から垂水町の特性を見ても、老年人口（65歳以上人口）では910人（構成比率15.9%）となっており、市や県と比べても低く県全体より8.5ポイント低い割合となっています。

一方、生産年齢人口（15歳～64歳）は、3,789人（構成比率65.9%）で市や県全体と比べて高く、就業人口も多いと予測されます。加えて、年少人口も1,050人（構成比率18.2%）と同様に高く、「若者の町」というイメージで将来に向け若年層の活躍が期待されています。

なお、町内は工場や店舗は少なく、新たな進出もあまり見られない反面、住宅団地・アパートなどの開発によりだんだんと田園住宅化が進んでいます。

垂水町の年齢別人口

平成19年10月現在

区 分	垂 水 町		丸 亀 市		香 川 県	
	人 口（人）	構成比（%）	人 口（人）	構成比（%）	人 口（人）	構成比（%）
年少人口	1,050	18.2	16,887	15.1	137,636	13.7
生産年齢人口	3,789	65.9	70,990	63.6	623,521	61.9
老年人口	910	15.9	23,778	21.3	245,172	24.4
合 計	5,749	100.0	111,655	100.0	1,006,329	100.0

2 人口増に伴う課題

このように、垂水町は近年、人口の増加を背景に活気ある地域として発展しているが、一方では当地の何よりの特徴である田園が、農地と宅地の混在の激化などにより失われていることも現実であり、さらには直面する課題として、生活道路や排水対策などの生活関連施設の整備が強く求められています。

3 主な公共施設

- ・ 丸亀市立垂水小学校
- ・ 土器川水防センター
- ・ 丸亀市立垂水保育所
- ・ 垂水浄水場
- ・ 垂水コミュニティセンター
- ・ 垂水駐在所
- ・ 土器川生物公園

4 その他公的施設

- ・ JA 垂水支店
- ・ 垂水神社と七寺
- ・ 今田医院
- ・ たるみ荘、ケアハウス垂水
- ・ シャローム、ケアハウスベテル
- ・ ひつじヶ丘保育園

5 自治会及びコミュニティ組織

現在単位自治会数は、44で、うち昔（旧集落）からの自治会が11で、残りの33が新たに建設された団地などで組織された新興自治会となっています。

またコミュニティ組織については、「飯野」「みなみ」に次いで平成5年6月に市内3番目に発足し、「垂水やすらぎの会」と称して各種地域づくり活動を展開しています。

6 文化財

- ・ 垂水神社湯立神楽（昭和61年4月1日付け市指定文化財）
（平成7年3月31日付け県指定無形民俗文化財）
- ・ 今田邸内七重塔（昭和46年8月27日付け市指定文化財）

7 自然・景観

- ・ 垂水神社社叢（鎮守の森）（平成12年12月20日付け市指定保存樹林）
- ・ ため池（上池、榊池、竜社池）
- ・ 出水（大出水、上長井、下長井、荒井、新出水）
- ・ 土器川生物公園
- ・ 垂水城跡（浄楽寺）
- ・ こんぴら街道（宇多津こんぴら街道、丸亀こんぴら街道 垂水茶堂跡）
- ・ 大川神社垂水分社
- ・ モロダ荒神

8 行事（イベント等）

- ・ 垂水神社の秋の例大祭
- ・ ふれあいウォーク
- ・ 垂水ふれあいまつり
- ・ 体協 球技大会
- ・ 垂水小学校夏まつり
- ・ 垂水小ふるさと学習
- ・ 町民ふれあい運動会
- ・ 保育所（園）ふるさとのあそび

写真で見る 残された自然景観、行事



垂水神社社叢



今田邸内七重塔



垂水城跡（浄楽寺）



宇多津・こんぴら街道（垂水茶堂跡）



土器川生物公園



ふれあいうォーク



ふれあいまつり



垂水神社湯立神楽

第2章 垂水町まちづくり計画

1 計画がめざす垂水の将来像

今回の計画策定では、策定委員会におきましてワークショップ方式で、豊かな自然、安全な住環境、垂水神社など歴史文化資源、小学校・保育所との連携、町民相互のふれあいなど垂水の良いところを伸ばす、逆に道路改良、休耕田対策、自治会未加入問題など垂水の良くないところを少なくしていくことを中心に、議論を展開し、計画づくりに取り組みました。

そして、そこで得た代表的キーワードは「自然、歴史文化、人づくり」の3つであり、丸亀市の総合計画の将来像と合致しました。

そのため、垂水のめざす将来像につきましては、『自然と歴史が調和し 人が輝くふるさと垂水』とします。

2 まちづくりの3本柱

垂水の将来像『自然と歴史が調和し 人が輝くふるさと垂水』を具現化していくため、次の3つのまちづくりの柱を打ち立てます。

(第1柱)

- ・ 豊かな自然と安全な住環境を守り育てます。

(第2柱)

- ・ 歴史文化施設の保全活用と小学校・保育所との連携などを通じ、教育文化を振興します。

(第3柱)

- ・ 町民一人ひとりのふれあいを大切に、人が輝くまちづくりを推進します。

3 計画の性格

本計画は、毎年度の総会及び合同部会において、必要に応じ改定できる柔軟な性格を有する。

4 計画期間

本計画の計画期間については、平成20年度から平成24年度までの5年間とする。

第2柱	歴史文化施設の保全活用と小学校・保育所との連携などを通じ、教育文化を振興します。
対象分野	教育文化など
考え方	<p>垂水神社や七寺など町内には多くの歴史文化施設があり、それを未来に継承することが、我々の使命と言えます。また、小学校のふるさと学習や夏まつり、保育所のふるさとのあそびや地域交流事業を通じ、世代間交流を深めながら、垂水の教育文化の向上に取り組むことが大切である。</p> <p>このため、全町民が一体となり、「歴史文化施設の保全活用と小学校・保育所との連携などを通じ、教育文化を振興します。」の実践に努めることとする。</p>
<p>計画事業（実施主体） は新規事業</p> <p><教育文化></p> <p>垂水文化財保存活用組織の整備（コミュニティ）</p> <p>文化財マップの作成（コミュニティ）</p> <p>文化財案内板の設置（コミュニティ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町史の再発刊（コミュニティ） ・ ふるさと学習の充実（小学校、白寿会） ・ ふるさとのあそびの充実（保育所、白寿会） ・ あいさつ運動の展開（コミュニティ、小学校） 	

第3柱	町民一人ひとりのふれあいを大切に人が輝くまちづくりを推進します。
対象分野	健康福祉、人づくりなど
考え方	<p>これまでの地域づくりの成果は、何より町民相互のふれあいの蓄積である。今後とも健康づくりや各種行事を通じ、町民一人ひとりが元気で輝く地域づくりがまちづくりの原点と言えます。</p> <p>このため、全町民が一体となり、「町民一人ひとりのふれあいを大切に人が輝くまちづくりを推進します。」の実践に努めることとする。</p>
<p>計画事業（実施主体） は新規事業</p> <p><健康福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人福祉施設との交流促進（コミュニティ、小学校、保育所） ・ 白寿会、婦人会の加入促進（白寿会、婦人会） ・ 健康づくり意識の高揚（コミュニティ、自治会） ・ 市担当保健師との連携強化（コミュニティ、自治会） <p style="padding-left: 2em;">土器川生物公園に運動施設を整備（市）</p> <p><人づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 垂水人材バンクの更新（コミュニティ） ・ 地域いきいき講座の充実（コミュニティ） <p style="padding-left: 2em;">ボランティアの日の設定（コミュニティ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものイベントづくりへの参画（コミュニティ） ・ 自治会活動の活発化と交流促進（自治会） ・ 自治会加入促進（コミュニティ、自治会） ・ 女性の地域づくり参画促進（コミュニティ、自治会） ・ 町内関係団体の活動活発化（コミュニティ、各団体） ・ 家庭教育の充実（小学校、保育所、コミュニティ） 	

(ワークショップ整理・その1)

垂水町の良いところ・良くないところ

区分	良いところ	良くないところ	キーワード
環境	自然が残っている 緑が多い ごみの収集状況がよい 生物公園自発的にごみ拾いする人がいる 中央に小学校等施設が多い 土器川生物公園 垂水神社鎮守の森 公害がない コミュニティバスの運行 環境がよく実体験を通して感性が育つ	道路が狭い 下水道化 農家と非農家の意思疎通を 犬の糞、タバコのポイ捨て ごみの放置 店が少ない 休耕田が多い 自動車の増加 公園、遊び場がない 駅が遠い	自然環境 田園風景 道路 下水道 休耕田
健康福祉	元気な高齢者が多い 受診率が多い 高齢者の施設入所が出来やすい 男性・子供料理教室 白寿会、婦人会の取り組み 空気がいい	ひまわりセンターになり受診が困難 レクリエーション等の施設	地域での受診率 元気な高齢者 老人施設が多い 検診場所の移行 健康相談が少ない
教育文化	ふるさと学習 垂水小夏祭り 地域の協力がよい 文化財の活用 垂水神社秋祭り 地域いきいき講座 垂水神社での雅楽 子供を育てる意気込みが感じられる 地域文化について学識経験者が多い 教育熱心、協力的 コミュニティがしっかりしてる	子供の教育 子供の見守りを活発に 美術館、コンサートに接する機会が少ない 自己主義の家庭増 幼稚園の設立 寺の整備 文化遺産を残す組織がない 秋祭りが遅い 垂水に伝わる行事参加者が少ない	地域の教育力 文化財が豊富 あいさつ 文化施設 社寺 保育所、学校の連絡
防犯防災	子供の見守り 町民あがての防災訓練 犯罪が少ない 災害が少ない	防災意識を高めること 防災資機材の備蓄 ヘルメットを自転車かごにいれ通学 自主防災組織の確立 自治会結成率が低い 防犯、街路灯がない 登下校時の安全確保	安全パトロール 犯罪が少ない 防災の充実 自治会組織
人づくり	白寿会の充実 垂水人材バンク あいさつ、声かけ ボランティア活動	女性の進出が出来やすい環境 自治会未加入者問題 福祉保健推進委員活動の活性化 家庭内のしつけ ボランティア精神の醸成 婦人会活動に参加者が少ない 公共精神に乏しい 人と人とのつながりが希薄 行事等の参加者が少ない 市議会議員が出ない	白寿会の活動 優れた人材 自治会加入率 ボランティア精神 家庭教育 人間関係が希薄
その他	老人にはコミュニティバスは嬉しい みんなの意見がまとまりやすい レタス、アスパラ、いちご	転入者、団地、アパートの人との交流 地域交流センターの充実	コミュニティバス 交流センターの充実

(ワークショップ整理・その2)

垂水町の良いところ伸ばし・良くないところを少なくする事業一覧

区分	垂水町の良いところ伸ばし	良くないところを少なくする
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・町内一斉清掃の実施(コミュニティ) ・花いっぱい運動の展開(コミュニティ) ・垂水神社と七寺の樹木プレート設置(コミュニティ) ・コミュニティバスの利用促進(コミュニティ) ・農地・水・環境保全向上対策の推進 〔自然水路やあぜ道の保全復元〕 (市、土地改良、自治会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良・生活排水対策(市、地権者) ・防犯灯の設置(市、自治会) ・休耕田対策の実施(農業者) ・町民マナー向上運動の展開(コミュニティ)
健康福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設との交流促進(コミュニティ、小学校、保育所) ・白寿会、婦人会の加入促進(白寿会、婦人会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり意識の高揚(コミュニティ、自治会) ・市担当保健師との連携強化(コミュニティ、自治会) ・土器川生物公園に運動施設を整備(市)
教育文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財マップの作成(コミュニティ) ・文化財案内板の設置(コミュニティ) ・町史の再刊行(コミュニティ) ・ふるさと学習の充実(小学校、白寿会) ・ふるさとのあそび(保育所、白寿会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・垂水文化財保存活用組織の整備(コミュニティ) ・あいさつ運動の展開(コミュニティ、小学校)
防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども安全パトロールの継続(コミュニティ、PTA) ・消防第12分団との連携強化(コミュニティ、自治会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の整備(コミュニティ、自治会) ・町内安全点検パトロールの実施(コミュニティ、自治会)
人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・垂水人材バンクの更新(コミュニティ) ・地域いきいき講座の充実(コミュニティ) ・ボランティアの日の設定(コミュニティ) ・子どものイベントづくりへの参画(コミュニティ) ・自治会活動の活発化と交流促進(自治会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入促進(コミュニティ、自治会) ・女性の地域づくり参画促進(コミュニティ、自治会) ・町内関係団体の活動活発化(コミュニティ、各団体) ・家庭教育の充実(小学校、保育所、コミュニティ)

第3章 計画策定資料

1 垂水町まちづくり計画の策定経過

平成19年 5月13日 計画策定方針決定（平成19年度垂水やすらぎの会総会）

平成19年 6月27日 垂水やすらぎの会合同部会において、計画策定の趣旨説明

平成19年 9月 2日 策定委員会発足・第1回ワークショップ
（垂水の良いところ・良くないところ）

平成19年10月14日 第2回ワークショップ
（垂水の良いところ伸ばし・垂水の良くないところを少なくする）

平成19年11月24日 第3回ワークショップ
（垂水の良いところ伸ばし・垂水の良くないところを少なくする）
（継続）

平成20年1月 原案づくり

平成20年1月26日 策定委員会において、原案審議

平成20年2月17日 合同部会意見徴収

平成20年3月29日 原案最終調整

平成20年4月 計画書印刷、

2 まちづくり策定委員会名簿

氏 名	所 属 団 体	備 考
本多 幸雄	連合自治会会長	
岩井 哲雄	白寿会会長	
西川 啓子	婦人会会長	
本田 克行	連合自治会副会長	
宮川 明広	体協垂水支部書記	
牧田 信幸	少年団体連絡協理事	
岡崎 季博	農協垂水支店長	
長尾 俊男	白寿会副会長	
岸下 光男	消防第12分団長	
綾野 敏晴	ふれあいセンター所長	
尾松 春良	少年団体連絡協会会長	
大塚 理香	環境美化推進委員	
西川 幸子	民生児童委員会会長	～平成19年11月
秋山 茂雄	民生児童委員会会長	平成19年12月～
宮武 さかえ	食生活改善推進員	
滝口 清司	小学校PTA会長	
安藤 和敏	学識経験者	
横川 朝明	学識経験者	
秋山 弘	学識経験者	
林 栄治	駐在所	
鈴木 紀美江	婦人会副会長	
奥田 育代	福祉ママ	
安藤 好春	小学校校長	
新土 百百子	保育所所長	
松崎 健文	保育所保護者会会長	
大野 みやび	母子愛育班班長	
森本 潔	子ども会会長	
大岡 由美子	ふれあいセンター書記	

(順不同)

「垂水まちづくり計画」

発行：垂水コミュニティ
「やすらぎと生きがいのある町たるみをつくる会」
【事務局】丸亀市垂水町 1344-1
垂水コミュニティセンター
TEL・FAX (0877) 28 - 5520